

# 建築人

2023

10

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No. 712







# 建築人

2023.10 No.712

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「なでしこ芸術文化センター」2022年

第15回 建築人賞奨励賞 受賞作品

設計：久米設計

施工：鹿島建設

撮影：川澄・小林研二写真事務所

西神中央地区のブランド力向上を目的として計画された複合文化施設。神戸らしいランドマークとなる外観に加え、駅前の賑わいをつくる為、駅側にイベントができる広場をつくり、ホールと繋ぐことも可能とした。施設前の歩道橋とブリッジにより駅と施設と街を繋げると共に、共用部にアートウォールを設け、ホールと図書館の融合を図っている。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「同志社大学 新創館」

建築主：学校法人同志社

設計：日建設計

施工：鴻池組

「CONTRAST」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：西友建設

7 動静レポート

8 Topics

9 News of Note

10 Information

12 Close-up Osaka

14 記憶の建築

「国立西洋美術館本館・新館」1959・79年

ル・コルビュジエとの対話を始めるために / 松隈 洋

## 大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

2023年の夏は、新型コロナウイルスの影響が以前よりは少なくなり、祭りなどが4年ぶりに開催されたりし、大きな賑わいを取り戻してきた。

ここ大阪城公園の太陽の広場などで開催された「こいや祭り」も、多くの参加者や観客が集い開催された。今回はこの祭りを取り上げたい。

「こいや祭り」は、阪神淡路大震災後に、関西圏の大学生たちが関西を元気にしようと、2000年から始まった祭りだ。メイン会場を大阪城公園の太陽の広場とし、その他大阪市内各地に会場を設け、よさこいを始め、河内音頭やヒップホップなど、様々な踊りを中心とした市民参加型の祭りだ。

よさこいは、高知県のよさこい祭りから派生した踊りを主体とする祭りの形態で、札幌市のYOSAKOIソーラン祭りが成功したことで各地に広まったといわれる。この祭りのネーミングは、関西で「こっちにおいで」を「こっちにこいや」などと親しみを込めた言い方をするのに因み、「こいや祭り」となったといわれる。

メイン会場となる大阪城公園は、大阪特別史跡地にある歴史公園で、大阪城を中心に大阪城ホールや多目的グラウンドの太陽の広場、軟式野球場、野外音楽堂などがある。また、公園内には、日本さくら名所100選に選ばれた桜や梅、桃などの名所がある。

公園の整備の元は、都市計画でもあり第7代大阪市長の關一氏が公園の整備を進めてきた経緯がある。憩いの場所に賑わいが戻ってきたことに感謝したい。

建築人 No.712 2023年10月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央（編集人代表）

編集人：石上芳弘 梅田武宏 荻窪伸彦 笠井志保  
河合哲夫 大松俊祐 橋本頼幸 北條豊和  
牧野隆義 三谷勝章 武藤優哉 村上栄司  
茂籠一之 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年10月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



# Gallery



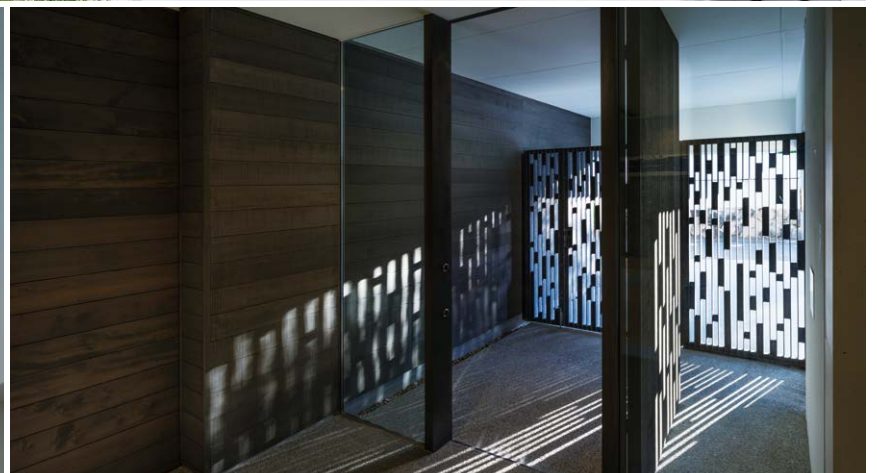




学生が集い、自発的な学びの場となるプラザ空間『ACADEMICPLAZA』をキャンパス全体の新しい顔として交差点に面した角地に配置し、キャンパス全体における学習拠点の構築と、街に対する新しい顔づくりに挑戦。既存体育館を解体し、京都の景観規制に沿った住宅街に相応しいスケール感となるよう、低層2階建てに高さを抑え、街並みとの調和を図っている。また、個人研究室、共同研究室、ACADEMICPLAZAという3つの機能を、パブリック性（プライベート性）の異なる3つのリニアな空間に配置し、それらが平面的かつ断面的にグラデーション的に隣接した建物構成とすることで、主体的な学びのサイクルを促している。コロナ後の多様な学習の場として活用され、建物全体を通して活動が滲み出るキャンパスを目指した。

所在地：京都市上京区  
用途：大学  
竣工：2023.05  
構造規模：S造  
地上2階  
敷地面積：14,365.20㎡  
建築面積：1,153.14㎡  
延床面積：1,997.78㎡  
写真：伊藤彰  
(アイフォト)





敷地は、地盤が前面道路から4.5m上がった高低差のある地形で本設計はその高低差を活かすよう計画が進んだ。外観は、角地による2面ファサードを意識し、2階とR階に2.5m張出した浮き壁を設け、室内への光を制御しつつ木造でありながらもRC造に負けない力強さを出し、あえて混構造に見えない一体的な外観とした。内部は、地下からアクセスするようになっており、玄関に入ると陰影のある落ち着いた空間が広がる。そこから1階に上がると地下とは一転、高さ5mの大開口から光が差し込む明るいLDKが現れ、その先にはテラスがLDKと一体的に広がり、北西の六甲山系を眺めながら過ごせる贅沢な空間が形成されている。

所在地：兵庫県西宮市  
用途：専用住宅  
竣工：2023.07  
構造設計：玉木建築設計事務所  
構造規模：RC造地下1階  
木造地上2階  
敷地面積：197.24㎡  
建築面積：78.88㎡  
延床面積：227.64㎡  
写真：松村芳治



# 動静レポート

## 会長動静

- 8/28 交野市長面談  
香港貿易発展局・Ricky 所長協議
- 8/ 2 大阪府収用委員会打合せ
- 9/ 1 北海道建築士会・青年サミット
- 9/ 2 北海道建築士会・全道大会



田中深川市長、岡本会長、高野会長、横山沼田町長

- 9/ 4 近畿建築確認検査協会・澤田会長
- 9/ 5 大東市長面談  
近畿大学・岩前教授面談
- 9/ 7 東大阪市長面談  
香港貿易発展局・Ricky 所長協議  
大樹会創立 50 周年記念式典
- 9/ 8 連合会登録機関連絡協議会理事会
- 9/11 四條畷市長面談  
大阪府収用委員会打合せ  
近角連合会会長及び井上・橋本元  
国交省住宅局長面談
- 9/12 奈良地方裁判所協議
- 9/13 枚方市長面談
- 9/15 大阪府仲裁廷
- 9/20 理事会
- 9/21 守口市市長面談  
大阪府収用委員会打合せ
- 9/22 連合会役員選考委員会

## 会長・役員による府内 43 市町村訪問

- ◎ 8/28 交野市・山本けい市長と面談



田中理事、横田副会長、岡本会長、山本市長、良副市長

- ◎ 9/5 大東市・東坂浩一市長と面談



石貫副会長、岡本会長、東坂市長、平井理事

- ◎ 9/7 東大阪市長・野田義和市長と面談



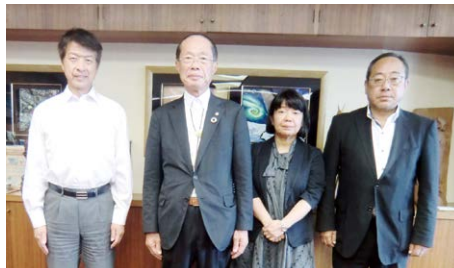
上田副会長、岡本会長、野田市長、中島理事

- ◎ 9/11 四條畷市・東修平市長と面談



田中理事、徳岡副会長、岡本会長、東市長

- ◎ 9/13 枚方市・伏見隆市長と面談



伏見市長、岡本会長、石貫副会長、田中理事

- ◎ 9/20 守口市・瀬野憲一市長と面談



上田副会長、瀬野市長、岡本会長、田中理事

## 9 月度 理事会報告

日時 9月20日(水) 16:00～18:00

場所 大阪府建築士会会議室

出席 理事 43/47 名 監事 2/2 名

名誉会長他 8 名

### (1) 入退会の承認

(人)	8月	入会	退会等
正会員	2,290	10	4
準会員	31	0	0
特準会員	23	0	0
賛助会員	138	1	0
計	2,482	11	4

### (2) 会計報告

(円)	7・8月計	累計
収入	14,206,112	82,219,170
支出	19,739,377	50,039,051
差引	△ 5,533,265	32,180,119

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 2025 年全国大会大阪大会の初期準備について、各部門への協力要請、旅行代理店の選出、大会テーマの検討、運営工程などの意見交換を行いました。

(4) 国際交流の一環で、インドネシアの研修、釜山の学生建築祭出展、香港の現場見学に係る協力体制を確認しました。

## 大阪急性期総合医療センターの災害訓練に参加

9月6日に大阪急性期総合医療センターにおいて、南海トラフ地震かつランサムウェアによるシステム障害が発生したという想定で、的確かつ迅速な判断のための被害状況報告システム(iCAS)を使用した写真付き建物被害情報の判定に対応した災害医療訓練が実施され、本会からは応急危険度判定士5人が参加しました。

本会は医療センターと震度6弱以上の地震が発生したとき、応急危険度判定を行う協定を平成29年に締結しています。



病院内体育施設における災害医療訓練

## 「竹原義二講演会+ユニソン大阪事業所見学会」

日程：令和5年9月8日(金)

会場：ユニソン大阪事業所

参加者：27名

本年度建築人賞受賞作品であるユニソン大阪事業所の見学会とその設計者である竹原義二さんの講演会という大変贅沢な企画です。

まず初めに、今回、会場をお貸しいただいた建物所有者である(株)ユニソン様のスタッフの方3名に、建物を汲まなく案内していただきました。建物の主な用途としては事務所とコミュニティスペース、休憩室等ですが、建物自体にユニソン様の扱われている外構関連の製品が一味も二味も違った使い方で使用されており、製品のアピールになっているのと同時に「こんな使い方があるのか」といった驚きを感じずにはいられない箇所が多くありました。建築自体が質の高いショールームの雰囲気も併せ持ちながらも、居心地のいい「ここで働きたい」と思わせる事務所空間を実現されているとこ

ろ、さすがと感心させられました。また、工事中の竹原さんのこだわりのエピソードや実際の建物の使用者としての感想などもスタッフの方からも伺うことができ、とても有意義な見学会となりました。

その後、竹原さんの講演会が始まります。事前に準備された(当日も開始前にさらに書き込んでおられました)、「黒板」(大きな黒い紙に竹原さんご自身がチョークで講演内容に関する図、絵、言葉を書かれたものを壁一面に貼り黒板に見立てたもの)を使用したライブ感のある授業と、スクリーンに映された映像を行ったり来たりしながら熱の入ったお話が続きます。

テーマは「日本建築に学ぶ設計手法」。

学生とともに実測を行いながら何度も訪れた日本建築、長い時間を経て研ぎ澄まされたその建築の本質を受け継ぎ、現代の自身

吉村淳二(研修委員会 委員長)



の設計活動に生かされているというお話、また、そうした設計手法の本質を受け継いでいくべきであるという主張、「大阪の高層ビルは梅田スカイビル以外、見るべきものがない」等、印象的な言葉の残る充実した講演会でした。



## 建築相談室から(76) リフォーム相談

「リフォーム」にまつわる相談は定番と言えます。相談内容は非常に多種多様ですがその中でも特に考えさせられるものをご紹介します。皆さんの身の回りにも同様のことが起きているかもしれません。

リフォーム中に業者の変更はできるか

RC造3階建ての自宅外壁、屋上などを含めてリフォームを業者に任せていた。屋上防水がウレタンからシートに勝手に変更される、外壁の塗装回数が見積・メーカー仕様と違う、高圧洗浄がされていないなど不信があり業者に質問状を出した。業者からの回答に謝罪はあるものの、具体的な疑問に答えるものではなかった。信用できないので他の業者ですすめたいと思っている。工事代金の半額は既に支払い済み、という相談。工事中に信頼関係をなくして施工者を変更したいと考えることはあると思います。「工事を中止にする場合はお互いに協議の

上、契約にそって精算をする必要がある。工事出来高と不具合部補修相当を確認しながら精算をしてください。交渉や要望の経緯はできる限り書面で記録を残すこと。」とアドバイスしています。仮に今の業者と精算ができたとしても、次の業者はその続きの工事を行うため、責任範囲を明確にしておかないと、問題が発生したときに、最初の業者と後の業者の工事の切り分けが難しくなることが予想され、最悪な場合どちらも責任をとらない、とれないと言ったことが起こります。そういったリスクがあるということも認識してもらい必要があるでしょう。

消費生活センターから

電話相談には困ったことに遭遇した本人から相談を受けた役所や消費生活センターの担当者からの電話を受けることがあります。「高齢夫婦。前年夏に家電量販店と477万円で工期1ヶ月程度の自宅リフォーム契約を

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

した。147万円は既払いで、残金は未払いとのこと。工事中から様々な不具合が発生して手直しを求めており、一部対応はしてもらったが未対応も多い。不信感を持っているため第三者の専門家として建築士の現地相談をすすめたいが可能か?」という消費生活センターからの電話。その後相談があったのかは記録ではわかりませんでした。

業者の紹介はできるのか

築約50年の戸建て住宅に住んでいる。トイレ修理をしようとしたところ大工さんに床下が陥没している、屋内の傾きもあり、建具に不具合も発生していると言われたが、建替までは考えていない。床下の現況調査、補修方法のアドバイス、信頼できる施工業者の紹介もできるのであればお願いしたい。という相談。事前に中立の立場の専門家に見てもらいトラブルを回避できる道を示すことは建築相談の理想型です。



## 大阪国際中学校高等学校 見学会

### ～生徒たちにやさしく寄り添うキャンパス～



研修部門 青年女性委員会 委員 石貫方子

#### 建築人賞新人賞

建築人賞新人賞は令和4年度に新設された賞で、大阪国際中学校高等学校はその最初の受賞作品です。設計は安井建築設計事務所の山崎拓氏で、コンセプト「ふれて感じて考える、すべてが学びの場」が具現化されており、ぜひ若手設計者にも見て頂きたいと思い青年女性委員会にて見学会を企画しました。



4階建RC造の校舎棟

#### ラーニングピラミッド

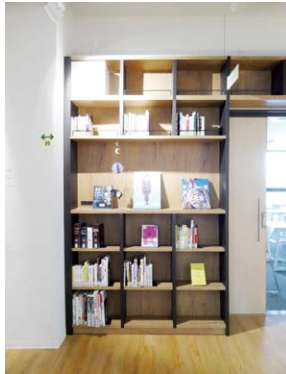
ラーニングピラミッドとは、学習方法と学習定着率を関係付ける理論で、講義<読書<視聴覚<デモンストレーション<グループ討論<自ら体験する<他者に教える、の順で定着率が高くなっていくとされています。大阪国際中学校高等学校では、生徒が自ら人の考えや文化・自然に触れる場として、校舎の中に様々な工夫が凝らされています。



入口の階段左側の壁には地層を思わせる壁

#### コミュニケーションを促す配置

中学校と高校の教室は同じ4階建RC造の校舎棟の中にあり、コミュニケーションコモンズと呼ばれる吹き抜け・廊下・階段を含めた共有空間を囲む形で配置されています。コミュニケーションコモンズは図書館を兼ねており、教室を出た廊下には様々な本が並んでいます。教室と廊下の間は様々な樹種の4枚扉で仕切られ、教室の名前は樹種名となっています。木の扉を引き込むとコミュニケーションコモンズと一体化し、本で調べものをしながらのグループ学習など、様々な授業が可能となっています。



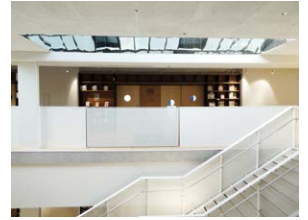
先生方は休み時間には1階の職員室に戻るのではなく、各階のコミュニケーションコモンズ内にあるティーチャーズコーナーで仕事をしていて、先生も生徒も、中学生も高校生も、緩やかな仕切りの中の大きな空間の中で過ごす形となっています。



ティーチャーズコーナー

#### 中廊下のため

トップライトから採光が確保され、季節ごとの表情も随分と違うように感じました。



#### MANABI庭と特別教室

RC造の校舎棟に対して、特別教室棟は校舎棟のまわりにMANABI庭を介して木造平屋建の校舎が配置されています。これらの外壁は4種の板張りで構成され、それぞれ名称が紹介されています。物理・化学・生物教室棟の外にはビオトープの庭があり様々な生き物と出会う場となっていて、建物の天井は配管・配線があらわしで、それぞれ用途毎に色分け表示されています。



調理教室棟の外には食育の庭があり、畑で育てた野菜を調理するという風に庭と教室がつながって魅力的な体験の学びの空間となっています。



#### 生徒の自主性を引き出す学びの場

キャンパス内にはいたる所に控えめに世界中の言語での様々な分野の人の言葉が刻まれており、それらは訴えかけてくるのではなく、図書館の本と一緒にひっそりと控えめに生徒に発見されるのを待っているように見えます。ここで思春期迎え、時に一人悩む事もあるだろう生徒たちを暖かく見守っている感がありました。



# Information

## 建築士会からのお知らせ

### 既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

- (業務内容)
- 耐震診断報告書の審査、評価
  - 耐震補強計画書の審査、評価 等
- (対象建築物)
- 公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
- (会員特典)
- 申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

### 令和5年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習(全6日間)

10/22、2/10、2/24  
CPD各4単位(一部単位なし)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。動画講習も含めて全6日間の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。大阪府ヘリテージマネージャーで、昨年受講分も含めてすべての講習を受講された方には修了証書を授与予定です。詳細・申込は本会ホームページをご覧ください。

- 第4回 10/22(日) 13:00～16:00
- テーマ 「重要文化財山本家住宅見学会と臨地講義」
  - 講師 中川 等氏
  - 会場 河内長野市 重要文化財山本家住宅
- 第5回以降は講師・会場調整中
- 日時 第5回 2/10(土)
  - 第6回 2/24(土)
  - いずれも13:00～17:00(予定)
- 定員 各回40名(申込先着順)
- 受講料 各回ごとに参加費が変わります。

### 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算法)

10/26 CPD4単位(予定)

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく減衰性能も評価することができる診断法です。本年10月にマニュアルを改訂し、表層地盤の評価方法の変更と、新たな耐震要素を追加

しました。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務にご活用ください。

- 日時 10/26(木) 10:00～15:00
- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- 定員 40名(定員に達し次第締切)
- 受講料 会員6,000円 一般8,000円
- テキスト代 4,000円

〔大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル〕

### 令和5年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)  
11/22、1/26、2/14、3/8 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

- 日程 11/22(水)、1/26(金)、2/14(水)、3/8(金)
- 時間 8:55～17:00
- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- 定員 各回30名(定員に達し次第締切)
- 受講料 WEB申込み9,500円  
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

### 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)

12/8 CPD5単位

本講習会は、既存木造住宅の耐震診断・改修を適切に行うことができる技術者の養成を目的としています(国土交通大臣登録講習ではありません)。講習会の修了者名簿は大阪府及び府内全市町村・関係団体等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。

- 日時 12/8(金) 10:00～15:50
- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- 定員 30名(定員に達し次第締切)
- 受講料 会員5,000円 一般9,000円
- テキスト代 7,300円

〔2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法〕

### 既存住宅状況調査技術者講習

新規講習1/18 更新講習12/13、3/13  
CPD新規5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得ください。なお、2020年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

- ▼新規講習(DVD)
- 日時 1/18(木) 9:30～17:00

- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- 定員 30名(定員に達し次第締切)
- 受講料 WEB申込21,450円  
郵送申込22,000円

- ▼更新講習(DVD)
- 日時 12/13(水)、3/13(水)
- 13:30～16:50

- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- 定員 30名(定員に達し次第締切)
- 受講料 WEB申込17,000円  
郵送申込17,600円

- ▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

### 令和5年度建築士定期講習

12/22、1/30、2/6、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所所属するすべての建築士は3年以上ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和2年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

- ▼対面講義
- 日程・会場・定員
- ※2/6(火) 大阪YMCA会館 200名
- ▼DVD講義
- 日程・会場・定員
- ※12/22(金) 大阪府建築健保会館 90名
- 1/30(火) 大阪府建築健保会館 90名
- 3/29(金) 大阪府建築健保会館 90名
- 時間 9:15～17:00(各講習日共)
- 受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(令和2年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。受付場所(送付場所)

- ※印の日程 大阪府建築士会事務局
- ※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

第67回建築士全国大会 大阪大会プレ企画  
第65回建築士全国大会 しずおか大会を知る!  
「東西に分かつ静岡の食文化!」  
10/5 CPD2単位(予定)

富士山・遠州灘・伊豆海岸等、個性ある地形と風土を持ち、日本の全ての食文化があるとも言われる「静岡」を学んで、「第65回全国大会しずおか」に行きましょう。静岡県立大学名誉教授 新井映子先生をお迎えして、静岡の食文化をweb講義頂きます。雑学としての建築知識の食文化を切り口にして、歴史と文化の伝承について考えます。是非、ご参加下さい!

- 日時 10/5(木) 16:00～17:30
- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- ZOOMによるWEB配信セミナー併用
- 講師 静岡県立大学名誉教授 新井映子氏

- 参加費 会員1,000円 一般2,000円
- 定員 25名(申込先着順)+WEB参加
- 申込 大阪府建築士会 シニアサロン

### IT活用連続セミナー

10/13、11/2、11/10 CPD各2単位(予定)

建築設計事務所のDX(デジタルトランスフォーメーション)運営について、クライアントとの連携、プレゼンテーション(PowerPoint、動画等)など、これからの建築業界に必要なIT知識向上のためのセミナーを行います。

- 日時 基礎編:10/13(金) 15:00～16:40
- 活用編:11/2(木) 14:00～15:40
- 発展編:11/10(金) 15:00～16:40

- 会場 大阪府建築士会 東会議室
- +WEB併用
- 定員 各回 会場30名+WEB参加50名(申込先着順)
- 受講料 建築士会会員  
3回セット5,000円、1回のみ2,000円
- 後援団体会員  
3回セット6,000円、1回のみ2,500円
- 一般  
3回セット7,000円、1回のみ3,000円

### 第66回大阪建築コンクール受賞者講演会+トークセッション

10/13 CPD2単位

大阪建築コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。第66回を迎えた今回、大阪府知事賞部門および渡辺節賞の受賞者による講演会とトークセッションを企画しました。受賞作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。また、審査委員とのトークセッションやパネル展示も行います。

- 日時 10/13(金) 18:30～21:15
- 会場 大阪工業大学梅田キャンパス203
- 大阪市北区茶屋町1-45
- 参加費 無料(申込不要)

### 神戸須磨シーワールド工事見学会+説明会

10/18 CPD3単位(予定)

2024年6月リニューアルオープンに向けて工事が進んでいる須磨海浜水族館再整備プロジェクト。この度、意匠・構造設計者による設計主旨の説明とともに、仕上工事に入っている工事現場の見学会を開催します。

※注意

- ・写真や動画撮影、及び見学会内容のSNS等の投稿をお控えいただきます。
- ・建築士会会員または後援団体会員限定とさせていただきます。



INFORMATIONの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

・チラシ付属の申込書にご記入、誓約書に自筆で署名と押印の上、本会までメールまたはFAXにてお申込みください。お申込み後メールにて受講料のお振込みの案内を差し上げます。

日時 10/18(水) 13:00~16:30

会場 神戸須磨シーワールド  
(JR神戸線 須磨浜公園駅  
下車 徒歩5分)

定員 30名(申込先着順)

受講料 建築士会会員3,500円  
後援団体会員4,500円

## ChatGPT×AI×建築・インテリア 10/22 CPD3単位(予定)

### ●メインセミナーについて

ニュースなどで話題の2つのテクノロジー「ChatGPT」と「画像生成AI」について実際にどのような事ができるのか、またこの先どのようにこのテクノロジーと付合っていくのかを分かり易く説明して頂きます。そして実際に、画像生育AIソフトを使っている実演動画を見ながら解説頂きます。建築やインテリアなどのデザインの引出しに新しい可能性を感じて頂けます。

### ●ボーナスセミナーについて

コワーキングスペース・ポートフォリオ所蔵の「Shop Bot」による木工切削の実演と事例等の紹介。「Shop Bot」とは3軸CNC(コンピュータ数値制御)加工機です。CADスキルを持つ建築士と非常に親和性が高い機械です。  
日時 10/22(日) 14:00~17:30  
会場 コワーキングスペース・ポートフォリオ(南海貝塚駅 西口すぐ)  
講師 松野良彦氏(佐野工科高校校長)  
参加費 会員・一般1,000円 学生無料  
定員 60名

## エレベーター構造見学会及び無人搬送機との連携

11/16 CPD1単位(予定)

知っているようで知らないエレベーターの構造をスケルトン昇降機と自動搬送ロボットとの連携の様子を実機にて説明させていただきます。

日時 11/16(木) 14:30~16:30

会場 クマリフト株式会社  
R&Dセンター及びテクニカルセンター

定員 24名(申込先着順)

受講料 会員500円 一般1,000円

## 介護・女性・ジェンダー トイレのお悩み解説講座

11/20 CPD4単位(予定)

それぞれの立場で、何が本当にトイレで困っているのか、そして今、性の多様性に関して、どんな配慮が必要なのか、各分野のトイレのスペシャリストに解説してもらいます。

日時 11/20(月) 13:00~17:10

会場 TOTOテクニカルセンター大阪  
(大阪市中央区久太郎町3-6-8

JRE御堂筋ダイワビル2F

地下鉄御堂筋線 本町駅下車

12番出口 徒歩4分)

定員 30名(申込先着順)

受講料 建築士会会員4,000円

後援団体会員5,000円

一般6,000円

### 地域まちづくり委員会

## 建築士の会「大阪市北地域」「北摂」共催 愛知県の植物園と庭園を巡るバスツアー

11/25~26 CPD7単位(予定)

紅葉の深まる11月の末、愛知県の植物園と庭園を巡るツアーに参加されませんか。初日は昭和50年瀧光夫設計の愛知県緑化センターを見学します。ボランティアガイドさんに樹木の解説もしていただきます。また翌日は名古屋市内の吉村元男設計の白鳥庭園と昭和11年竣工の重要文化財の温室のある東山動植物園を見学します。皆様お誘いの上ご参加ください。  
日時 11/25(土)8:30~11/26(日)18:30  
集合場所 JR大阪駅周辺  
参加費(予定)

会員30,000円 一般32,000円

バス料金、宿泊費、保険含む、夕食および朝食付。

宿泊はビジネスホテルシングルルーム予定

注1)参加人数により参加費は多少変更あります。  
注2)参加者には11月初旬に事務局より参加証を発送予定です。

定員 30名~45名(申込先着順)

最小催行人数 30名

申込 <https://forms.gle/wuW9Z4gnKKFQCddW6>

### 第18回国際企画海外研修旅行

## 「ヒューデックの足跡を巡る〜上海の作品群を見て回ろう グルメも芸術も盛り沢山」

2019年に交流協定調印した後コロナで行けなかった上海を訪れ、上海市建築学会との交流をします。またヒューデックの作品等を視察します。

日程 2024/2/22(木)~26(月)

行先 上海市各所

定員 30名

※最低催行人員10名

参加費 217,000円(燃油サーチャージ・空港諸税等別途負担あり)

締切 11/30(木)

CPD 申請予定

## 行政からのお知らせ

### 違反建築防止週間(大阪府)

10/15~10/21

国土交通省及び各特定行政庁においては、

建築基準法違反の建築物の是正及びその発生予防に努めており、その一環として全国一斉に「違反建築防止週間」を実施しております。大阪府では期間中に建築パトロールやパネル展などのPR活動を通じて、府民の皆様に対し周知に努めております。詳細は下記URLをご確認ください。

[http://www.pref.osaka.jp/kenshi\\_anzen/anzen\\_kaiji/campaign.html](http://www.pref.osaka.jp/kenshi_anzen/anzen_kaiji/campaign.html)

問合せ先

大阪府都市整備部住宅建築局建築指導室  
建築安全課

TEL.06-6941-0351 内線4326・6282

### (一社)日本鉄鋼連盟

## 建築構造用鋼材と利用技術セミナー 10/27

一般社団法人日本鉄鋼連盟では健全なる鉄骨造建築の普及活動として、2014年度から「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」を開催しております。今回は、最新の研究成果や世の中の動向を踏まえて、建築構造用鋼材の利用技術、新工法等に関する5つのテーマについて、実務的・実践的に解説いたします。

日時 10/27(金) 13:15~16:20

会場 新梅田研修センター

申込 日本鉄鋼連盟ホームページより

<https://www.jisf.or.jp/info/event/kenchiku/2023.html>

### (一社)関西建築構造設計事務所協会主催

## 記念講演 第48回公開講演会

2023年日本建築学会大賞受賞

## 「大型耐震実験手法の開発と耐震解析・設計の高度化に関する一連の研究と国際貢献」

11/10

この度、下記の講演会を開催いたしますので是非ともご参加ください。

日程 11/10(金) 16:00~17:30

会場 ホテルロイヤルクラシック大阪

大阪市中央区難波4-3-3

講演者 榎小堀 謙二 研究所代表取締役

京都大学名誉教授

中島正愛 氏

### (一社)大阪府建築士事務所協会主催

## なにわ建築フェスタ2023

11/11

児童画展としては今年で40年目。住まいとまちづくりのありかたについて、府・市民に興味を持っていただき、小学生、幼稚園児の関心を高めるとともに、併せて建築士事務所についての認識を深めていただくことを目的として実施いたします。

日時 11/11(土) 9:00~17:00

会場 梅田スカイビル タワーウエスト22階

内容 児童画展、子度向けイベント(建築工作、防災工作)等

### (一社)日本建築士事務所協会連合会主催

### (一社)大阪府建築士事務所協会主管会

## 「マロエニBIMコンペOSAKA2023」 11/11

毎年多くの方にご参加いただいているマロエニBIMコンペを今年も開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

目的 BIMの可能性の理解を深め普及促進を図る

日程 2次審査(公開審査)11/11(土)

会場 梅田スカイビル22階

参加対象範囲 建築およびBIMを学ぶ学生、建築士事務所に所属する者

テーマ 水都OSAKA“中”之島”を考える

参加者負担金 なし

申請者連絡先

(一社)大阪府建築士事務所協会

TEL.06-6946-7065 Fax.06-6946-0004

### (公社)地盤工学会関西支部主催

## 地盤工学会関西支部 第14回若手 セミナー

11/16

シニア世代土木技術者のボランティア組織であるCVV(Civil Veterans&Volunteers)で活動されている2名の方をお招きし、これまでの業務棟で得られた経験や知見について講演・話題提供していただきます。また、土木分野のトラブル事例や新技術への挑戦事例をテーマにグループ討論も行います。

日時 11/16(木) 14:00~18:30

場所 ドーンセンター大会議室3+Zoomミーティング

定員 会場50名+Zoom100名

参加料 会員2,200円 非会員3,300円  
学生会員 無料

申込 (公社)地盤工学会関西支部

TEL.06-6946-0393

Fax.06-6946-0383

mail:office@jgskb.jp

## 本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか?

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。ぜひ本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか。なお、掲載作品は本会が表彰する「建築人賞」の候補となります。掲載ご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度  
(詳細は本誌Galleryページ参照)

●掲載費用 100,000円

※1 初回割引80,000円(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

※2 若手初回割引50,000円(40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方)

●詳細・申込 事務局担当:母倉  
e-mail: info@aba-osakafu.or.jp  
TEL:06-6947-1961



## 新庁舎建設 × 行政DXによる新たな役場づくりへの挑戦



千早赤阪村 村政戦略部 戦略推進課 安井良之

### 1 はじめに

大阪唯一の村である千早赤阪村は、府内最高点である金剛山の麓に位置し、豊かな自然に囲まれています。さらに、日本の棚田百選に選定されている「下赤阪の棚田」や、南北朝時代に活躍した楠木正成ゆかりの山城跡や誕生地遺跡等を有しております。また、大阪市内から国道309号を利用して車で約1時間といった交通アクセスの良い場所にあり、休日には多くの登山客が訪れます。しかしながら、急激な人口減少、少子高齢化が進行し、本村は平成26年に大阪府で初めて過疎地域に指定され、現在、千早赤阪村過疎地域持続的発展計画に基づき、様々な施策を展開しているところであります。このような状況において、良質な村民サービスを提供し、近年、激甚化・頻発化する災害時の拠点としても十分な機能を備え、村民の安全・安心の礎となる新庁舎建設事業に関連した村の取組について紹介いたします。

### 2 新庁舎建設について

#### 2-1 新庁舎の建設にいたるまで

旧庁舎は、昭和31年に千早村と赤阪村が合併し、千早赤阪村が誕生したのを契機に、昭和38年に鉄筋コンクリート2階建の庁舎が建設されました。その後議場など増改築を行い、昭和55年には別館を建設しました。更に人口増加等による行政需要の多様化に対応するため、平成5年にくすのきホールを建設、平成9年に保健センターを建設し、役場機能が分散された状況にありました。旧庁舎竣工後50年が経過し、耐震性の問題、構造物の劣化、壁のひび割れ・剥離、排水設備の腐食など、施設の老朽化が進み、平成25年に千早赤阪村庁舎建設検討委員会を設置し、新庁舎建設の具体化に向け検討を進め、平成28年に現庁舎での建て替えが決定しました。

#### 2-2 新庁舎の概要

##### 2-2-1 基本理念

むらづくりを進めるための核となる新庁舎として、村民のつながりや絆を育み、村民主体

のむらづくりの拠点として、村民生活を支えるとともに、村民の安心・安全を守る防災拠点として整備を進めることとしました。

基本理念	新庁舎の方向性
むらの安心・安全を守る庁舎	①十分な構造安全性の実現 ②災害時の防災拠点 ③村民の避難拠点としての活用
むらの新しい時代に対応する庁舎	①村民の利便性の向上 ②行政サービス機能・業務の向上 ③環境にやさしく経済性に優れたグリーン庁舎 ④人にやさしい庁舎
むらの住民にやさしい開かれた元気な庁舎	①むらの総合的な情報発信拠点 ②村民活動の発信・交流拠点 ③元気なむらづくり拠点
むらの景観をリードする庁舎	①地域に溶け込み、景観をリードする庁舎 ②千早赤阪村らしさを醸し出す庁舎 ③村民から親しまれ、愛着が持たれる庁舎

##### 2-2-2 建築概要

構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	1,805.51㎡
建築面積	543.81㎡
延床面積	1,519.31㎡
階数	地上3階
工事費	約6.6億円
請負者	村本建設株式会社大阪支店
設計者	株式会社徳岡設計

##### 2-2-3 建物の特徴等

村の景観をリードし、より村らしさを醸し出すため「杉板本実(ほんざね)型枠コンクリート工法」を採用しました。無機質になりがちなコンクリート擁壁の表面に杉板の木目をつけることにより、建物に村らしさを加えました。また、新庁舎の建物内に柱を立てない構造としたことから室内15mスパンの梁部材に「現場打ちPC工法」を採用しました。現場打ちの梁に設置されたシース管内に高強度のPC鋼より線を挿入し、コンクリート強度発現後に油圧ジャッキで緊張してプレストレスを導入する工法としました。

##### 2-3 新庁舎竣工後の展開

令和3年12月に村本建設と請負契約が締結され進められてきた新庁舎建設工事は、令和4年10月に1期工事が竣工し庁舎機能の一部が移管されました。令和5年9月末には

新庁舎建設工事が完了する予定となっております。

過疎の公示を受けた本村としては、新庁舎建設にあたりコスト管理が大きな課題となっており、調査・設計、建物工事費から備品購入、電算関係処理や引越し費用までの、ありとあらゆる経費を村の基金残高である約10億円以内で収める必要がありました。

また、令和3年の村営金剛山ロープウェイの廃止、新型コロナウイルス感染症の拡大、ウクライナ情勢による世界的な資材単価の高騰や人材確保など新庁舎整備に向けた事業費確保が困難な状況での建設工事となったものの、村本建設株式会社大阪支店、株式会社徳岡設計や庁内関係各部署など関係者の協力のもと予算内に完成できる見込みとなりました。

予算の問題や、更なる人口減少を見据え、新庁舎整備を極限まで縮小した結果、住民窓口や執務室など十分なスペースを確保することができなかったことに加え、くすのきホールや保健センターに分散された役場機能の解消にはいたりませんでした。

今後はいかに村民の皆さんが役場に不便を感じることがないように、利用しやすい環境を整備していくことが重要であり、このため行政のデジタル化により村民が誇れる村をめざし取り組んでいくこととしています。

### 3 「行かない」、「待たない」、「書かない」役場!

3-1 千早赤阪村スマートビレッジに向けた戦略  
国調人口が5,000人を切り(人口4,842人:2,556世帯/R5.4現在)今後も人口減少が進むと予想される本村は、社会保障制度、子育てや地域コミュニティの維持など大きな影響が予想されます。

今後、今までと変わることなく、行政サービスを提供していくには積極的なデジタル技術の導入による業務の効率化・働き方の改革が求められますが、財政規模・対象規模を勘案した場合、費用対効果が薄く、他自治体より相当デジタル化の遅れをとっている状況で、村のデジタル化を進めていくには、村民の暮らしを守ることを第一に考え、取り組む事項



を整理、理解を得ながら迅速かつ着実に進めていく必要があることから、人力的・組織的に脆弱な本村では、国や大阪府・民間企業からの助言・支援を受け進めることとしています。

3-2 第2の新庁舎『むらデジタル庁舎』を新設  
令和5年9月末の第II期工事完了をもって新庁舎建設計画が完成しますが、完成時期に合わせ、村民にとって使いやすい分かりやすい新しい役場の役割を担う「第2の新庁舎『むらデジタル庁舎』」を新設する予定です。オンライン申請におけるさまざまな行政手続きのデジタル化を進めることで利便性の向上を図り、現在村が建築中の新庁舎完成を機に、役場窓口とは別に、365日24時間いつでも村民のみなさんにとって使いやすいサービスを提供することで、住みたい、いつまでも住み続けたい村づくりの実現をめざします。

### 3-3 『押忍!スマホ道場』を開場

本村の役場への来庁頻度が高い、いわゆる行政のヘビーユーザーは主に「子育て世代」の方、「高齢者」であり、このうち「子育て世代」の方々のほぼ全員がスマホを使用されています。一方「高齢者」のスマホ使用率がまばらとなっており、特に60歳以上の方々にデジタルデバイドがあり、内閣府の世論調査（スマートフォンなどの情報通信機器を利用できていない）の指数を本村人口にあてはめると、約1,200人弱の高齢者がデジタルデバイドと想定されます。

本村では、これらの方々を対象に、日常的に楽しみながらスマートフォンを活用できる仕掛けづくりとして、令和5年度から「押忍!スマホ道場」を開催。高齢者等のデジタルスキルアップを図り、デジタルデバイドの解消につなげる企画と実践に取り組んでいます。

### 3-4 「スマホに始まり、スマホに終わる」

「押忍!スマホ道場」は、役場職員だけではできません。そこで、今年度当初から地域活性化起業人（特定非営利活動法人きんきうえぶ）を受入れ、よりきめ細やかにサポートできる体制を整えました。

今後10年で、ライフスタイルのデジタル化はますます躍進し、スマホの形や使い方も更に進化すると思われます。既に日常生活においてもテレビや洗濯機、電子レンジや掃除機、エアコンはもちろん、ペットのお世話やドアの施錠もスマホひとつで管理できるようになり、様々なイベント予約から申請、支払いもス

マホひとつで、全てが事足りるようになりつつあります。しかし、システムがどれだけ進んだとしても、それを使いこなせない人にとっては無用の長物です。「押忍!スマホ道場」では、長期的目線で村民をサポートする態勢を作り、受講した村民を門下生とし、ずっとフォローし続けることができるように会員証や「スマホよろず相談所」等を設け、3年後10年後を見据えた寄り添うサポートにも力を入れています。

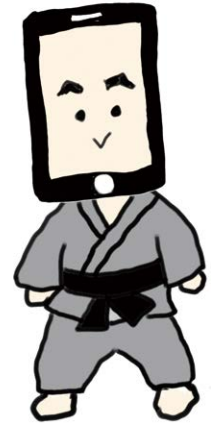
「押忍!スマホ道場」の取組みは、TEAM EXPO 2025プログラムの「共創チャレンジ」として登録された活動になっています。「押忍!スマホ道場」のキャッチコピーは、「スマホに始まり、スマホに終わる」としており、門下生みんな「スマホだけを持って大阪・関西万博に行こう!」を目標に日々スマホの稽古に励んでいます。

## 4 おわりに

村営金剛山ロープウェイは、1966年に村営ロープウェイとして開業し、金剛山の中腹にある千早駅（標高708m）と金剛山駅（975m）を約6分で結び、約半世紀の長きにわたり、老若男女問わず登山を楽しむ多くの登山者の足として利用されてきました。

しかしながら、2018年の大阪府北部地震を機に、駅舎の耐震診断を実施したところ強度不足が判明。耐震補強を行い運行の再開を目指しましたが、補強工事に多額の費用を要することから、民間譲渡を含め模索しましたが、2021年に残念ながら廃止することを決定

いたしました。また、昨今のコロナ禍の影響によりひと頃より登山者は減少傾向にあります。現在、村のシンボルである四季折々の顔をのぞかせる「金剛山」を中心とした千早赤阪村の賑い・魅力づくりに大阪府や地元観光協会と共に取り組み、村を訪れる人が癒されるコンテンツや特産品の開発を進め、魅力あるむらづくりを進めています。そのためにも皆さん、ぜひ一度千早赤阪村へお越しいただき、一緒に村を盛り上げていただければと思っています。お待ちしております。



スマホ三四郎  
キャラクター



スマホ道場の稽古風景



新庁舎イメージ



ル・コルビュジェとの対話を始めるために

国立西洋美術館本館・新館 一九五九・七九年

文・写真 松隈洋「神奈川大学建築学部教授」

二〇二三年八月二四日、国立西洋美術館に行く機会があった。東京都美術館と同じく、新規募集で四月に任用された建築ツアーを担当するボランティア・スタッフのための養成研修の講義を依頼されたからである。その間、まさかここまで長引くとは思っていなかったが、新型コロナウイルス感染状況が続いてきた。そのため、二〇二〇年十月から休館して行われていた前庭のリニューアル工事が二〇二二年四月に竣工した直後の記念

講演会がリモート参加となったので、改修後初めての訪問となる。この前庭のリニューアルは、二〇一六年のユネスコの世界文化遺産登録の際に、後年に施された緑地帯などにより、ル・コルビュジェの設計意図の一部が失われている、との指摘を受けたことから、一九五九年開館当初の姿を可能な限り復元することを目的に施されたのだという。

中庭越しに見る国立西洋美術館新館



国立西洋美術館本館の南側正面外観



なり、対面の東京文化会館との空間的なつながりも回復された。そのことは、西洋美術館のピロティイから見返してみると一目瞭然だ。しかも、この前庭の改修に合わせて実施されたのだろう。これまで入館料が必要だった中央の十九世紀ホールと呼ばれる吹き抜けの展示室まで、無料ゾーンとして一般開放されたのだ。これにより、西洋美術館の一階は、前庭と同じく、すべて出入りが自由な公共空間として、誰もが行き来できるようにになったのである。建築そのものの価値がここまで尊重されて整備が進んだのも、世界文化遺産がもたらした画期的な成果だと思う。

の中で、次のように証言している。

「耐震改修の検討委員会が建設省に発足したのですが、メンバーは、鈴木博之、藤木忠善、阪田誠造、田中清雄、高階秀爾という顔ぶれを加えたということは、「普通の補強をするわけではない」と宣言しているようなものだと受け止め、私が委員長を引き受けました。検討の下準備として、(中略)柱を太くするか、耐震壁を設けるといふ案も検討しましたが、コルビュジェの作品にそのようなことをするわけにはいかない。(中略)そこで、当時はまだ実用化され始めたばかりの免震構造を採用する提案があったのです。」(特別記事「岡田恒男建築物の改修と保存の意義残されるべき建築物を設計せよ」『建築技術』二〇一七年四月号)。

ここで岡田が述べたように、西洋美術館の高階館長の下、かつて坂倉の下で現場監理に携わった藤木、竣工後の増築や新館を担当してきた坂倉建築研究所と前川事務所の代表の阪田と田中、DOCOMOMO 日本代表の鈴木による慎重な判断で、建築的な価値を守ることができたのである。そして、実は、そこには、一九五五年十一月、敷地視察で来日したル・コルビュジェが、日本の木造文化とコンクリート打放しの仕上げに見られる職人技に触れた経験があったことも忘れてはならないと思う。

『建築雑誌』一九五五年十二月号)によれば、ル・コルビュジェは、奈良の正倉院の「木の肌」や、前川事務所の柱と梁の「打放しコンクリートの仕上げぶり」に「感激」したという。こうして、現場の段階で日本側から提案されたのだろう。緻密で均一な肌目を持つ姫小松の木製型枠を用いた精緻なコンクリート打放しの仕上げが施されたのだ。そして、現場から届いた写真を見たル・コルビュジェは、自らの『作品集第七巻』に、ピロティの丸柱と梁の写真を選択して大きく掲載し、「その質のよさは、日本人独特の完全な工作の腕と、素晴らしい職人的良心のためものだ」と絶賛したのである。だが、こうして免震による建築的な価値が守られたにもかかわらず、なぜか、同時に施工された前庭地下の企画展示館増築という大規模な建設工事の中で見落とされたのか、本館の外壁の青石を埋め込んだオリジナルのプレキャスト板は、すべて廃棄されてしまったのだ。当時、筆者は、設計チームの傍らで本館の歴史的な経緯の調査を担当し、大部の資料集を作成していた。けれども、それはまったく活用されず、このような事態に遭遇し、愕然として悔やんだ。それから四半世紀の時が流れた。

独学で建築を学び、建築によって社会変革を志したル・コルビュジェの最初の著書『建築をめざして』が出版されたのが一九二三年、ちょうど一〇〇年前である。本館の一階のカフェから、豊かな緑が育った中庭越しに前川の新館を眺めるとき、今回の前庭のリニューアル等によって、ル・コルビュジェとの対話を始められる環境が整ったのだと思えた。



# 水まわりを、 解放せよ。

決まった形、場所、色。

水まわりはいつからか、  
こうでなければならない。という  
先入観に支配されていました。

しかし、家具や音楽を選ぶように、  
水まわりだってもっと自由でいい。

大切なのは、人と水とのよりよい関係。

SANEIは水まわりを既成概念から解放し、  
もっと心地よい水との暮らしを、  
あなたと共に考え実現していきます。

ALWAYS WITH JOY  
SANEI







舞台後壁が開放され、広場・多目的スペースと一体となるホール



駅前のランドマークとなる街に開かれた「なでしこ芸術文化センター」